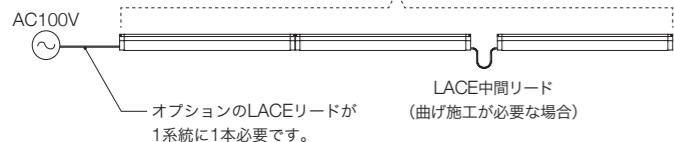


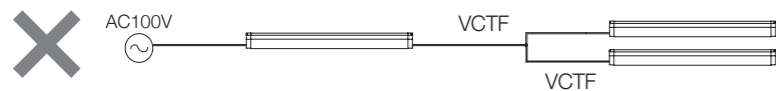
04 配線

最大連結長はLACE中間リードを含む20mとなります。(調光器を使用しない場合)

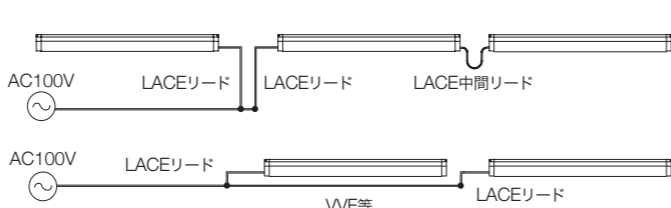


○LACEリード+LACE中間リードで延長して使用しないでください。

送り側の分岐配線は不可



電源分岐、または電源延長が必要な場合



注意

- 指定の接続方法に従わない施工は、製品の劣化などの原因となりますのでおやめください。
- 最大連結長を越えた接続は、発煙・発火の原因となりますので、超えないようご注意ください。
- 余分なリード線は束ねたり、配線を造営物に固定したりせずに適度な長さにカットしてご使用ください。

●推奨電線以外の電線を使用する場合や、特殊な施工条件の場合は弊社までお問い合わせ下さい。

○線径の細い電線や、過剰なリード線の延長は、電圧降下を引き起こすだけでなく、電線の過熱や保護装置の正常な動作を妨げる要因となります。

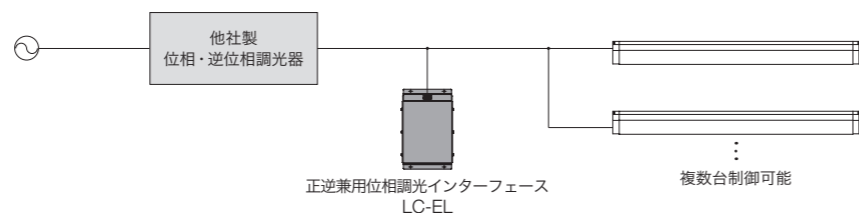
調光時の配線

位相調光・逆位相調光時の動作を安定させるインターフェースをご用意しております。対応する調光器により接続台数（最大連結長）が異なります。最新の対応調光器・接続台数に関する情報は弊社HPをご確認ください。



正逆兼用位相調光インターフェース LC-EL (別置型)

位相調光・逆位相調光のどちらにもお使いいただける別置タイプです。



注意

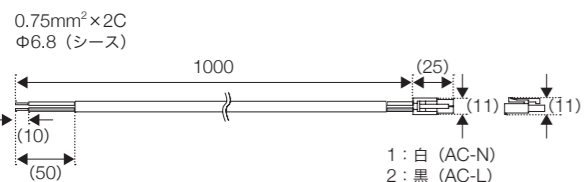
- 器具の特徴として調光のパラツキを抑える回路を搭載しておりますが、調光下限値付近や点灯開始の立ち上がり時などは器具の個体差によってパラツキが生じる場合があります。予めご了承ください。
- 周囲環境や機器の個体差、接続本数などの条件によって、点灯・消灯時のパラツキやチラツキ、調光時のパラツキや音鳴りが発生する場合がございます。

※対応している調光器をご使用の場合でも、全ての不具合が起きないことを保証するものではありません。予めご了承ください。

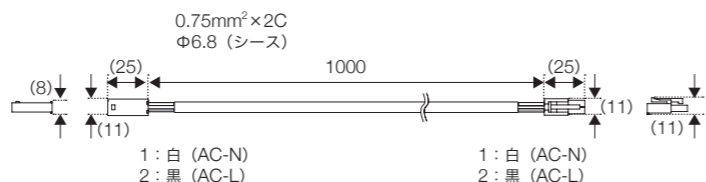
05 オプションパーツ

製品仕様 単位: mm

LACEリード1m 品番: LACE-CON-1m



LACE中間リード1m 品番: LACE-EXT-1m



2023.11.20



商品のお取り扱いに関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
 〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレ2F
 Tel.03-5763-6121(代表) Fax.03-5763-6130 www.toki.co.jp/tokistar/

取扱説明書

LACE

レース

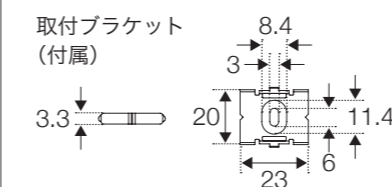
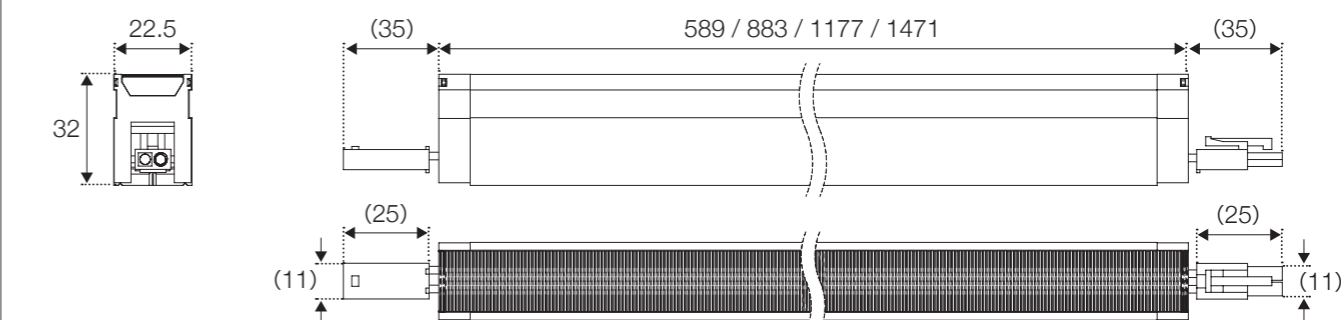
品番

LACE01-□□K-W-L□□□□

光源色 本体色 器具長さ

製品仕様

単位: mm



位相調光対応
(0%、約5~100%)

※逆位相推奨



詳細はHPへ

定格電圧	AC100V	重量	L0589=330g L0883=475g L1177=620g L1471=765g	光源色	器具長さ
消費電力	L0589=7.5W (12VA) L0883=11W (18VA) L1177=14.5W (24VA) L1471=18W (30VA)	演色性	Ra85	高演色 27K: 2700K 30K: 3000K 35K: 3500K	L0589: 589mm L0883: 883mm L1177: 1177mm L1471: 1471mm
		光束値	1100lm/m(3000Kの場合)	本体色	
		使用環境	0-40°C (屋内用)	W: 白	

01 ご使用前にお読みください

- ・本製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、必ず保存してください。
- ・出荷案内書の記載内容と商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
- ・出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に万一製品が破損していた場合はすぐにお知らせください。
- ・配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています。)
- ・分解、改造は行わないでください。製品保証対象外となります。
- ・LED製品には、LED素子の性能向上や素子製造時のばらつきにより、個々のLEDで発光色や明るさが異なる場合があります。
- ・機器に高電圧がかかる絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因となります。
- ・照射距離が近い時や照射面の状態によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
- ・器具の取り付けは、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および、本説明書にしたがってください。(取付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります)
- ・落雷によるサージ電圧で、LED素子を含む電子部品が損傷を受けることが稀にあります。特に雷の発生が多い地域では、分岐回路二次側に、サージ吸収フィルタの設置をご検討ください。

02 安全にご使用いただくために

本製品は定格AC100Vです。AC200Vなど定格を超えた電圧がかかると、器具が破損します。発煙・発火の原因となります。定格電圧と配線には十分に注意してください。



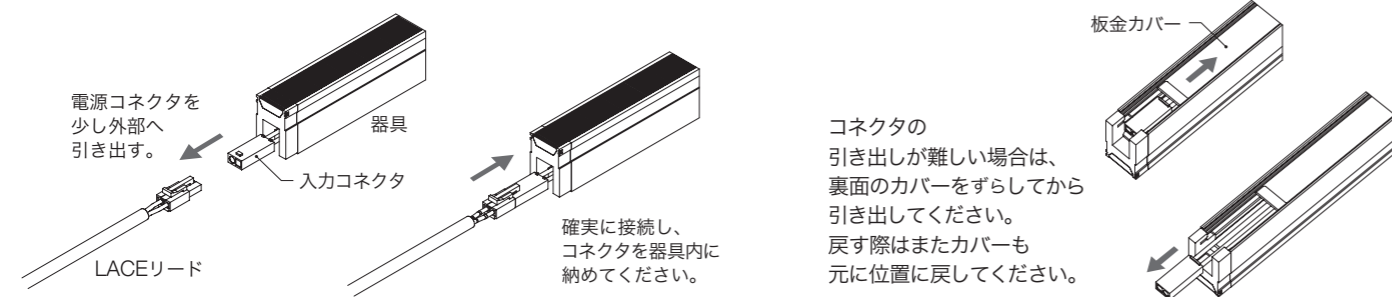
- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ⊙ 周囲温度が0°C～40°Cの範囲を超える場所 ⊙ 周囲湿度が30～80%RHの範囲を超える、あるいは結露が生じる場所 ⊙ 粉塵が多い場所、振動が多い場所 | <ul style="list-style-type: none"> ⊙ 可燃性ガス、腐食性ガスなどの発生する場所 ⊙ 浴室など湿気が多い場所 ⊙ 定格電圧AC100Vに対して±6%の範囲を超える電圧が加わる環境 |
|--|---|

※ショーウィンドウのように、日の当たる環境は高温となりますのでご注意ください。
※使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、弊社までお問い合わせください。

03 本器具の取り付け

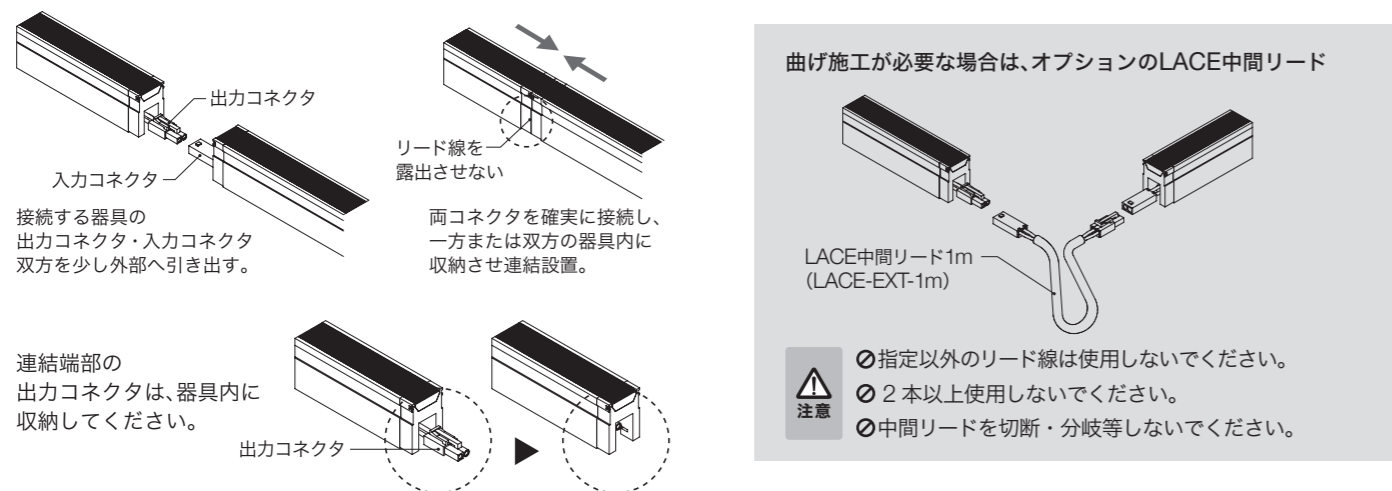
STEP 1 | 器具とリード線の接続

器具とオプションのLACEリード (LACE-CON-1m) をまず接続します。器具の入力コネクタを少し外部へ引き出し、LACEリードと接続します。確実に差し込んでください。



STEP 2 | 連結接続

連結接続する場合、器具相互のコネクタを少し外部へ引き出し接続。器具双方を連結する際はコネクタを、どちらかもしくは両方の内部に完全に納まるようにして設置してください。

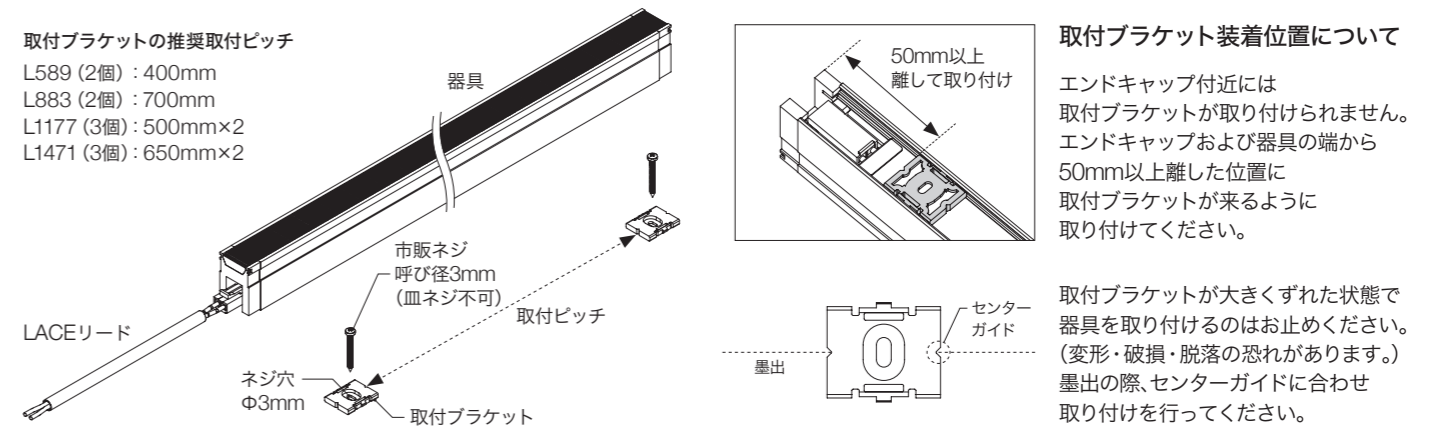


取り付け手順は、右ページ上部へ続きます。

STEP 3 | 取付ブラケットで器具を固定

付属の取付ブラケットを用いて器具を固定します。ブラケットは器具長によって取り付ける個数が異なります。必ず付属している取付ブラケットを全て使用し固定してください。

ブラケットは直線になるよう固定してください。ずれて固定すると変形やLEDの不点灯、脱落に繋がる可能性があります。



ブラケット固定後、器具をブラケットにカチッと音がするまで押し込み、外れないことを確認してください。

注意 ブラケットへの取り付け、取り外しを何度も繰り返し行わないよう注意してください。ブラケット爪部分が破損する恐れがあります。

- ⊙ 必要以上に強くネジを締めつけないでください。特にインパクトドライバーでは行わないでください。取付ブラケットが変形、破損し脱落する恐れがあります。
- ⊙ 作業は電源を切った状態で行ってください。
- ⊙ コネクタを強く引っ張らないでください。感電やLED不点灯の原因となります。エンドカバーなど分解しないでください。感電の原因となります。
- ⊙ 本製品の出力・入力コネクタには、当社指定のリード線以外接続しないでください。
- ⊙ コネクタを露出させないでください。発煙・発火の原因となります。
- ⊙ コネクタは接続時のみ取り出し、接続後は必ず器具内に納めてください。(未接続コネクタも含む)
- ⊙ 器具間を離し、器具内リード線が露出する設置はしないでください。発煙・発火の原因となります。
- ⊙ 通路上や高所等、落下被害が落下被害が想定される所に設置される場合は、特に造営材に配慮する等、安全確認を十分に行ってください。

取付方向について

製品を天井や高所に取付ける際は落下防止の対策を行ってください。

■ 器具を縦方向 (垂直) に設置する場合

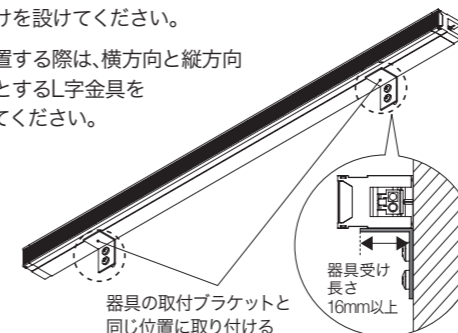
器具の最下部に適切なL字金具等を使用し、器具の滑り落ち対策を行ってください。このような施工の場合の結線は必ず上部から行ってください。



■ 横方向 (水平) に設置する場合

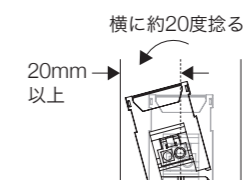
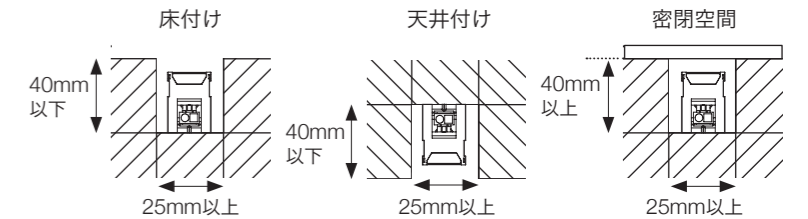
器具の取付ブラケットと同じ位置に適切なL字金具等を使用し、器具の受けを設けてください。

斜めに設置する際は、横方向と縦方向両方必要とするL字金具を取り付けてください。



最小施工寸法について

この寸法より狭いところに設置すると、器具の温度上昇により器具寿命が短縮する恐れがあります。実際の施工では、推奨取付寸法 (推奨の取り外し方について参照) を保ちつつ、メンテナンスを考慮し、より広い開口寸法をおすすめします。電線の配線スペースもご考慮ください。器具を並置する場合は条件が異なります。お問い合わせください。



推奨の取り外し方について

器具を横に約20度捻るように倒すと比較的楽に取り外すことができます。器具中心から20mm以上倒すスペースが必要となります。